

○事業所名	キッズデイ かのん		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 16日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 16日	～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の気持ちを尊重して、活動や遊びの中で必要なルールやコミュニケーションを自然と身に付けてもらう事を大切にしている。	子どもの興味関心に沿った活動提供と子どもの主体性や対話を大切に活動を提供する中で、豊富な経験や深い学びにつなげられている。	本人支援の5領域に沿った基本活動を軸に、より計画的に幅広い経験や深い学びの場が提供できるようにしていきたい。
2	集団が苦手なお子様も活動や遊びを通して人間関係を築くことで無理なく参加できるようにしている。	みんなのできる遊びや活動の中で自然と人と会話を持てるような環境づくりをしています。	活動の充実を図り、必要に応じて個別の対応で関係性を深め少人数から集団の中へ徐々に馴染んでいけるよう取り組んでいます。地域の行事に参加したり異文化を学び体験したりしてもらいたい。
3	様々なハンディを持ったお子様が同じ空間でお互いに理解し合いながら交流を持っています。	車椅子の操作方法を教えて学びの場にしていきます。集団活動の中で、お友達同士助け合い、相手を思いやる気持ちを育みます。地域のイベントなどには積極的に参加しています。	学校や障がいの特性など関係なく、当事業所を利用したいと思ってもらえるよう楽しく学べる場を提供していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会・保護者向け勉強会を開催していない。	保護者同士が交流する機会がない。 スタッフが少ないため準備等に着手できない。 共働きのご家庭が多く、日時の調整が難しい。	年1回の開催を目指し、保護者の方に事業内容や子ども達の活動内容、成長を伝えられる機会を設けたい。保護者向けの勉強会や研修がある際は、案内を促すようにする。保護者会へ参加してみたい方々の曜日や時間帯などの意向を聞き、様々な方法(オンラインなど)を試していきたい。少人数から始めていきたい。
2	スタッフの連携が取れていない。	会議が少ない。スタッフ間の会話(コミュニケーション)が少ない。勤務シフトが多数あり、ずれ違いが多い。空いた時間にいろんな話をするようにしています。	申し送りノートを作成し、共有するようにする。ラインワークを活用していく。
3	放課後等児童クラブ、その他地域の子どもと活動する機会がほとんど持っていない。	季節によっては流行している病があり、感染を考慮するとなかなか交流は難しい。活動時間やイベントの日時など交流に際して移動時間も含めて合わせにくく参加が難しい。	現在、交流できている事業所とは今後も関わっていきたい。当事業所からも、近隣の事業所に声をかけてみる。市や町のイベント情報は常に気がかけて情報収集をし、参加できそうなきには参加して行きたい。